

月曜 是非

小國民を護れ

今回秋の休暇を利用して、駒澤大学の童話團一行が来るに對し、平町のみのり君が率先して真珠の肝煎りに役に當り、兒童の世界に働いた御苦勞を感謝する。然して吾人は今後一般父兄に兒童を中心とする社會運動に正しき認識と理解ある援助を切願して置き度い。

平署選手が

縣下劍道に優勝

既報本日午前八時より福島市武徳殿に於て開催された縣下警察武道大會に出場した平署劍道部選手は見事優勝した(本日午後二時十分着電)

競技會廢止

農村青年には必要なきとして

草野村で紛糾の結果

草野村青年團にては毎年体育競技會を催す事が行事となつて居たが先年競技上の事から馬目分團と主催者幹部との間に紛糾の生じたのが動機となり農村青年には陸上競技の必要なしとして競技會廢止の叫びが段々大きくなつたので同村青年團は問題の悪化を恐れ今後競技會を廢止する事に決定した

繼走優勝

第一校選手

既報昨日午前九時より双中グラウンドに於て開催された同校陸上運動會の濱三郡小學校兒童八百リレーレースに出場した平第一小學校チ

記者團惜敗す 既報在平日刊記者俱樂部對古河炭礦の野球戦は昨日午前十時半より古河小館グラウンドで舉行され記者團最後迄奮戦したが及ばず左の戦績に依り五對三のセオアで惜敗した

Table with 2 columns: Name and Score. Includes '庭球戦' (Table Tennis) and '古河の選手権' (Kogane's Championship) results.

低資借入 豊間が陳情 豊間村漁業組合では昨夏の風水害による復舊低利資金二萬一千三百六十圓借入を決定代表者が出縣運動中

平町に會合 平町部戶籍會の平町外十八ヶ町村戶籍吏員は来る廿四日午前八時より平町役場會議室に於いて事務研究會を開くと

市原醫院 印刷御用命 總は命用御 印刷日每警常 番〇三六話電

幼女の怪事件

犯人は十五歳の少年

犯罪の發覺を惶れて殺意 映畫見物の歸途に此兇行 スリを働いて捕る

既報湯本町字辰ノ口魚行商 鶴次長女青柳ヤス(八)假名 に關する暴行並に傷害事件 は稀なる怪事件として注 目されて居たが犯人の目星 つかず一時は

迷宮入り

りを傳へられ たが平署では躍起となつて 犯人捜査に努めて居た處昨 廿二日午後二時頃湯本入山 炭ダランドに開催中の入山 炭礦従業員慰安運動會々場 内で同町中町三七七居住渡邊 正介外一名の者が何れも懷 中せる墓口をスラれたとの

届出が

あつたので直 ちに現場を捜査の結果秋田 縣河邊郡河添村字柴野新田 生れ湯本町字辰ノ口居住坑 夫佐藤竹太郎次男佐藤正男 (一)假名を被疑者として自 治會館前で

取押へ

て調べると被 害者等の墓口を所持して居 たので本署に押送取調中端 なくも前記怪事件にも關係 ある節を認め應援に來署中 の縣刑事部の吉田部長が嚴 重取調の結果同少年は去る 十九日午後十一時半頃活動 見物の歸途

被害者

青柳方の附近 に用便中被害者ヤスが便所 に出て來たのを見て急に年 にも似合の慾情を起し矢庭 にヤスを抱へて野原に連込 み散々暴行を加へた揚句犯 罪の發覺を怖れて殺害せん と企て所持せる肥後守を以 つて咽喉部より腹部に重傷 を加へて

逃走し

た旨を自白し たが此の恐るべき犯罪が少 年の手に依つて演ぜられた を知り流石の平署員も舌を 卷いて居る

傷口から

ピンと響く 犯人檢舉の苦心 湯本怪事件の犯人檢舉に就 いては平署の安藤刑事部長 が犯人捜査に出張中入山病 院に於いて被害少女の治療 に當つた醫師が傷口を見て スリ仲間で使用する鋭利な 刃物を使つた様に切口が薄 く長く切つてあると語つた 話にヒントを得頭ピンと 來た處へ昨廿二日所も同じ 湯本町からスリの被害届出

犯人佐藤正雄(一)假名の家

は數年前迄双葉郡廣野村に 住んで居たが同村小學校に 通學中廣野驛構内でポエン トの悪戯をして其筋の取調 を受け尋常三年で中途退學 段々不良化し間もなく好間 村某炭礦に一家と共に移住

転々と移住する内 一人前の不良兒に

以來小鼠泥を働いては活動 寫真や芝居を見て歩き家を 外に遊んで暮し一人前の不 良少年となり今次犯罪を冒 す九日前の本月十日一家は 好間から湯本町辰ノ口に移 轉し被害者青柳方の向側に 戸を構へたのであつたと

畑の中で賭博開帳

車座の四名捕る 好間村大字下好間字大館地 内木賃宿高木屋事高木藤四 郎方より二丁位離れた畑で 昨廿二日午後一時頃東京市 下谷區入谷町一六住所不定 井出善宗(五)北會津郡荒井 村字二山堂井榮三郎(六)栃 木縣河内郡本郷村字土郷鶴

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間 兒童劇「一茶さん」(中 川欣一原作)廣島縣師範 學校附屬小學校兒童 獨 唱 演出中川欣一 指導 木村信一 併奏大坪時光 後六、二五 英語講座(三 後七、三〇 産業ニュース

後七、五〇 講演「神風連

を語る」石原龍男 後八、二〇 「胡弓と箏曲」 三絃 遠藤操 琴胡弓、遠 藤操 後八、四〇 少女歌劇 樂 劇「リシニヤシユリ」 寶塚少女歌劇 星組生徒 門田若子外大勢 併奏寶 塚オーケストラ 指揮宮 原復二

後九、三〇 時報ニユ

氣象通報 番組豫告 明日の部 前六、三〇 基礎獨語講座 (十七) 橋本忠夫 前九、一〇 料理献立「鮭 の菊むし」磐井たけず發表 「少年保護事業當事者の 一人として世の両親方に お願ひ」多摩少年院長 太田秀穂 後〇、〇五 管絃樂 コロ ナオーケストラ 指揮篠 原正雄 後一、一〇 陸軍特別大演 習實況(福井縣下演習區

域より中繼)

後六、〇〇 子供の時間 お話「路傍の科學」柏木 印馬 後六、二五 基礎佛語講座 (十一) 目黒三郎 後七、三〇 講演「近代戰 に就て」統監部幕僚陸軍 航空兵大尉 三好康之 後八、〇〇 落語「野晒」 立川談志 後八、三〇 歌謡曲 一、 「上の山温泉小唄」唄奴 外 二、「大鰐小唄」唄奴 子外 後八、五〇 浪花節「藝妓 と力士」京山泰爲 講談 「和井内貞行」(第一席) 丸山金一



明日のラジオ 廿四日 報豫氣天 今晩も明日も南西 の風晴曇半す

常務理事渡邊賢一氏は去る

二十一日聚樂館に於いて開 催された國際拳闘に來場さ れたのを機とし明日より二 十六日迄好間校を始め附近 小學校に於いて体育上とし ての繩飛びを普及宣傳の爲 め巡回講演を行ふと

平青年修養

稅務署長講演 平青年團月次修養會は來る 二十六日午後六時よりマル トモホールに於いて例會を 開き平稅務署長唯野喜八氏 の財政の話を聴講すると

小名濱海岸に

飛行機不時着 秋田への途中故障を生ず 昨廿二日午後一時半頃千葉 縣千葉沼田帝國飛行學校の アプロ機第五〇四四号機を 瀨川良立氏が操縦して秋田 市へ向ふ途中小名濱上空で 故障を生じ飛行不能に陥り 同町船引場海岸に不時着陸 したが機體搭乗者共に無事

拳闘大會

手違ひから 損失を招く いはき新報社高木喬君主催 の拳闘大會は藤田左傳君が

子育の神

花園祭り 奉納の獅子舞 明日草野の賑ひ 草野村郷社愛宕花園神社の 祭典は明日二十四日盛大に執 行されるが餘興としては同 村青年團の奉仕獅子舞を始め 大神樂茶番狂言等あり昔 からの子育神として有名な だけに近郷近在からの入出 が多く賑ひを豫想されてる

飛行機不時着

秋田への途中故障を生ず 昨廿二日午後一時半頃千葉 縣千葉沼田帝國飛行學校の アプロ機第五〇四四号機を 瀨川良立氏が操縦して秋田 市へ向ふ途中小名濱上空で 故障を生じ飛行不能に陥り 同町船引場海岸に不時着陸 したが機體搭乗者共に無事

拳闘大會

手違ひから 損失を招く いはき新報社高木喬君主催 の拳闘大會は藤田左傳君が

子育の神

花園祭り 奉納の獅子舞 明日草野の賑ひ 草野村郷社愛宕花園神社の 祭典は明日二十四日盛大に執 行されるが餘興としては同 村青年團の奉仕獅子舞を始め 大神樂茶番狂言等あり昔 からの子育神として有名な だけに近郷近在からの入出 が多く賑ひを豫想されてる

拳闘大會

手違ひから 損失を招く いはき新報社高木喬君主催 の拳闘大會は藤田左傳君が



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第七十一回 血に飢ゆる村正

親は急死倅は怪俄

次郎兵衛がおこんを殺し
急いで渡し場へ行かうとす
ると後から、「オーイ次郎
兵衛々々」呼ぶ聲は確にお
こん、ゾツとして振返つて

見たが降り来る雪ばかり人
の姿も見えない其儘急いで
渡しへ掛り増賃をして渡し
を越し、歩いて行かうと思
つたが、何だか跡から人が
尾いて来るやうに思はれて
歩かせん茲で駕籠へ乗り
蕨の中宿松屋利助方へ参り
ました、松屋へ這入りま
した時は顔色は眞青定宿な
り殊に親切な松屋の主人が
主「どうなさいました佐野
の旦那」

次「何だか雪に降られて支
度が整つて居なかつたと見
えて大分熱が出たやうだど
うぞ醫者を呼んで貰ひた
い」

主「畏まりました」

と、直に宿の醫者を呼び
見て貰ひますと、何分にも
熱が高うございまして浮言
にも「おこんや俺が悪かつ
た」の「三四郎さん誠に氣
の毒な事をしました何れ冥
土へ行つてお詫を致しま
す」など、怪しからん事を
云ふので松屋夫婦も大に

驚きました、丸で一晩とい
ふものは七瀬八倒の苦しみ
をなし終に夜の明方に死去
いたしました、早速佐野の
船橋次郎兵衛の宅へ其事を



知らせませうと行違ひに、
佐野から飛脚が参りまして
念の爲だと申すので松屋へ
寄りましたので漸う分りま
したのは、昨晚若旦那が爐
の傍で小僧と巫山戯て居る
内に過つて圍爐裡の中へ顔
を突込んだ、途端に自在の
環が取れて薬罐の湯を丸で
浴び其外に火傷を澤山な

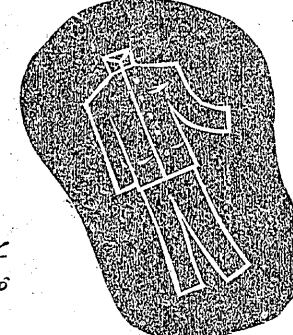
れたので直に小松原有信先
生が来て療治をしたが何分
重体故旦那へ注進に來たと
の事に、松屋では二度吃驚
を致しました、然し仕方が
ないから手續を経て次郎兵
衛の死骸は船橋の實家へ送
る事になり、近所の人や親
類が立合ひまして葬式を致
しました、扱て次三郎の方
は顔も頭も丸で皮が剥けて
了ひ、其外手足にも火傷が
あるので有信が骨を折つて
療治をなすどうか命は助
かるだらうが、其代り顔形

は丸で見違へるやうになる
だらうとの評判、金のある
のと醫者の骨折で命は助か
りました、九で化物同様
の顔色になりました、けれ
ども一人息子なり誰も故障
をいふものもなく親父の跡
を繼いで改名なし、次郎左
衛門と申す事になりました
其中に月變星移り迫々年

頃にも成りましたが、何分
其顔色でございませうから話
の已に届いて居る縁談さへ
破談になりました事は前回
にも述べて置きました通り
でございます、されば次郎
左衛門は色氣を捨て、都
築武助の門に入り、終に免
許皆傳といふ事にまでなり
ました、其の武助が死ぬ時
に呉々も遺言をして、美
女を持たうと思ふなよ、籠
釣瓶は寺へ納めて呉れ、と
仰しやつたのを、何分立派
の物ゆえ欲しくなり、拵へ
を直して道中差しにして居
りましたのが間違ひの根源
でございます、モ一々次郎左
衛門も二十八歳に相成りま
した時どうか隣り村の者へ
の面當に三日でも宜いから
ビードロを櫻の枝に吊るし
た様な美しい女を女房に持
て見たいと飽まで其の念は
止みません、丁度三月の
事だ相變らず本銀町の佐野
屋へ泊つて居りました用を
かこつけにして美しい女を
探して歩きました、何分
も見當りません、顔附が美
しいかと思へば手足が悪か
つたり是なら充分だと思ふ
と後附がいけなかつたり髪
の毛もよし姿もよし是なら
申分ないと思つて能くよく
見ると耳の傍に大きな瘤が
あつたりどうも思ふやうに
参りません、佐野の若者ゆ
え話をすると若い衆が云ふ
にやア女を見るなら吉原に
限りますと云はれ然うかと
若い者一人案内を連れて這
入りましたのが花の三月で
ございませう、仲ノ町兩側の

茶屋は花暖簾植櫻は咲き揃
つて居ります様子、時も
夕方の事でございませうから
花魁の道中やら茶屋の二階
ではチリカラカッポで浮れ
て居る様子、初めて廊へ這
入つた次郎左衛門吃驚して
了ひました
次「若い衆成程話で聞いた
が吉原と云ふ所は大層賑や
かな所だ」
若「昔は遊女三千人御免に
なつたと申しますが今では
三千人ではさかないさうで
ございませう」

黒小倉通學服賣出



小學生用(長ズボン付)	
A	90
B	1.10
特製	2.50
中學生用	
特製 6號	3.50
御注文(特上)	6.50均一

ふかや洋服店 三203

冬服の御用意をなさいましたか
弊店は御満足の頂ける黒小倉服を
澤山取揃へ特価にてお務めして
おります

確實親切は

正木織物店ノ生命也
絹織物、正木織物店へ
開業二十五週年を祝するため
一割引にて大々的勉強御注文
に應ず
御注文の時(呼出六七四番)へ店員伺ヒマス
平町字新町貳貳番(公園下)

白生地 正木織物店
賃織販賣

安價で効果的な天然加里肥
最も適應する作物!!
蔬菜 馬鈴薯 里芋 じゃが類

一俵 參拾錢 (大量取引は特に)
製造販賣 金成國雅
平町鎌田(電話六八八)

貨物自動車の御用命に應
じます

吸入用酸素純度99%

度量衡
モノサシ
マ
ス
ハカリ
体温計
寒暖計

關内藥局

電話四〇番
寫真材料一式販賣致シマス